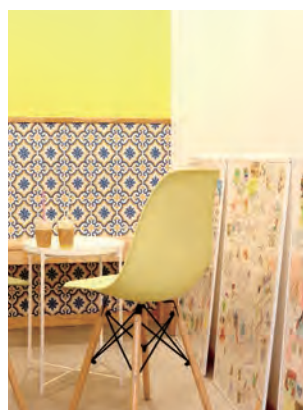


開業に向けて着実にステップを踏み
地域に根ざした店をつくる



ASAGAYA693
アサガヤロクサン

銀栄商店会(杉並区)

活用した事業 商店街起業促進サポート事業
(商店街開業プログラム)

開業後すぐに、地元から愛される人気のカフェに

2021年10月にオープンしたカフェ ASAGAYA693。野菜たっぷりの手作りサンドイッチ、フレッシュな果物を使ったフルーツサンド、自家製無農薬レモンのドリンク、根菜・発酵食品を取り入れた惣菜など、素材にこだわった商品を提供し、常に人が集まっている。

店主の鈴木幸江さんに転機が訪れたのは2014年。東日本大震災の3年後だ。ボランティアで訪れた被災地で、仮設住宅に引きこもり孤立する高齢者を目の当たりにした。孤立の問題は被災地や高齢者に限らず、子育てに悩む夫婦や若者にだってある。そんな人たちが集まれるコミュニティスペースを作れないか、と構想する中で、次第に誰もが気軽に立ち寄れるカフェを運営し、地域から孤立しがちな人々を支えたいと考えるようになった。

ゼロからのスタートでも開業における経営の基礎を習得

そこから開業を目指して、パン屋やサンドイッチ屋で修行を開始。そして、子育てに一区切りがついた2020年、本格的な開業準備に取り掛かった。この時に活用したのが、公社の商店街開業プログラムだ。

「いざ、開業しようと思っても何から始めていいのか全く見当が付きませんでした。そこで公社のサービスを利用することにしたのです。経営の勉強はゼロからのスタートでしたが、基礎をしっかりと学ぶことができ、不安が解消されました」

アドバイザーの助言と一緒に学んだ受講生仲間の存在が心強かった

「事業計画書を作る過程でも専門的なアドバイスがあり、自分では捉えられない問題が明確になりました。浮き彫りになった問題は、どう対処すればクリアできるのか。じっくり考えながら、具体的な事業計画書を作成したことで、無事に開業することができました」



『ASAGAYA693』店主の鈴木幸江さん

全10回の講義を共にした受講生とのつながりも、鈴木さんにとっては大きな財産となった。

「開業希望者同士、同じ悩みを持っており、話をしている共感できることがたくさんありました。出店場所も、受講生仲間から阿佐ヶ谷の街を紹介してもらい、具体的なイメージがわきました。開店した時には、お祝いに来てくれたことも嬉しかったです」

嬉しそうに微笑む表情からは、一人ひとりのお客様を大切にしている様子が伝わってくる。

「まだ店の切り盛りで精一杯ですが、余裕のある運営ができるよう改善を重ね、小さな子どもからお年寄りまで地域の方々が気軽に立ち寄れる場所にしていきたいです」と語った。



04

ASAGAYA693

杉並区阿佐谷北6-9-3 TEL.03-6770-7059

<https://www.instagram.com/asagaya693/>

